

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
数学基礎教養 Cultural Studies of Mathematics		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(就職試験対策を兼ねる)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林 大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
採用試験（一般企業や公務員等）において、数学の試験結果の比重が高くなっている。本講座では数学の様々な応用について学びながら、採用試験突破に必要な数学スキルを修得する。				
授業の目標				
①文章問題を読解し、適切な方程式を立てられるようにする。 ②問題に応じたグラフ、図形を描くことができるようにする。				
授業の方法				
各回の基本事項を説明した後、配布した文章問題を解く。				
学習の成果（学習成果）				
①SPIの非言語領域の問題を解くことができる。 ②論理的思考ができる。 ③日常生活に必要な計算（割引計算、消費税、燃費計算等）ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	自然数、整数、有理数、整数の割り算とユークリッドの互除法			
第2回目	線形方程式系 連立方程式の応用			
第3回目	力学への応用① 速度・加速度			
第4回目	力学への応用② 微分・積分			
第5回目	力学への応用③ 物体の運動			
第6回目	力学への応用④ 円運動・単振動			

第7回目	力学への応用⑤ 三角関数・図形・グラフ 小テスト①	
第8回目	化学への応用① 濃度・割合 小テスト①の解説	
第9回目	化学への応用② 状態方程式	
第10回目	統計学への応用① 順列 組合せ 確率	
第11回目	統計学への応用② 量的データの整理・図表の読み取り	
第12回目	平面図形① 多角形 小テスト②	
第13回目	平面図形② 加法定理、円周角と中心角、正弦定理、余弦定理 小テスト②の解説	
第14回目	応用問題①	
第15回目	応用問題② 小テスト③とその解説	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は小テストの合計点から減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート		
調査報告書		
小テスト	100%	小テストを3回実施する。評価の基準は以下の通り。 S:90%以上、A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上、D:60%未満
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。		
履修上の留意点・ルール		
私語は慎むこと。		